

濱文庫について(1)

落石, 清
当時の九州大学附属図書館六本松分館受入掛長

<http://hdl.handle.net/2324/8309>

出版情報 : 貴重文物講習会. 1, 2007-10-22. Kyushu University Library
バージョン :
権利関係 :



濱文庫(中国古典戯劇関係資料)について

落 石 清

九州大学教養部中国文学の碩学故濱一衛教授の旧蔵書「濱文庫」約830点2400冊をこのたび教養部分館に導入した。

これは、濱先生が1930年代中国留学中、家産を傾け精力的に蒐集された戯劇関係の古書籍を多数含む稀にみる貴重なコレクションである。この分野の古書籍は、もともと儒学奉信者からの排斥で印行が少くない上に、巷に消失しがちであり残存書はあまり多くない。また、鎖国時代長崎での漢籍輸入に幕府のきびしい検閲制度があったため、到来がきわめて貧弱で本邦に広く流布しなかった。西日本ではオリジナルなものが皆無に近く、わが国の大規模図書館にも所蔵が少ないことから、非常に貴重なものと言える。

中国古典演劇は元の時代に始まった。北方語による白話(口語)韻文で、歌舞音曲を伴ったいわゆる七音音階の音楽劇(元曲・雑劇・北曲)である。以来700年間、現在の京劇に至るまで各時代の人々によって愛好され、民衆に深く根をおろし、中国文化の一大ジャンルを形成している。

文庫には、雑劇創始期からのテキストとして、『元曲選百種』、『古今雑劇三十種』、『元明雑劇二十七種』、『六十種曲』、『奢摩他室曲叢』、元明清の選集『綴白裘』、『同絵図本』などの大部な戯曲の叢書が揃っている。元代の有名な劇作家の作品としては、関漢卿の『拜月亭幽閨記』、徐臣の『殺狗記』などがある。なかでも代表的な名作とされる董解元の『西廂記』(書生張生は西のひさしでまどろみ、崔の娘と逢瀬を重ね、試験に落第するばかり、奮起一念進士に合格昇進して崔氏を妻に迎える芽出度い話)は、破格長篇傑作であるため、上演・出版の歴史も長く、従って演出のたびに脚色替えされる運命にあり、時代や役者の要求に即応した異本も多数存在した。濱先生はこれら同一演題戯曲の異本異版をくまなく丹念に集められているので、比較考証の材料として申し分ない資料価値を有している。元末のものとしては、高明の『琵琶記』(後漢末の蔡中郎は進士に及第して上司の娘と重婚させられる。一方故郷の正妻は舅姑をなくし、琵琶を弾きながら苦勞して上京し、やっと夫と再会でき、一夫二妻で仲よく暮らす話)のように、劇構成を多様化して筋書きを複雑に展開することにより興味を煽り、聴衆を釘付けした作品もある。

元の後期に、楊子江中下流域から起った南曲(昆曲・五音音階)が北曲を凌ぎ、戯曲内容が高尚となり、上演される戯曲から読まれる戯曲へと変化し、明代に入ってそれらは伝奇(長篇ドラマ)と呼ばれるようになった。このころから貴族文人が戯曲の創作に力を入れはじめ、『荆釵記』、『白兔記』、『霞箋記』、『想当然』などから、湯顯祖の『牡丹亭還魂記』(貧乏書生柳夢梅が死んだ知事の娘杜麗娘に還魂丹を飲ませて生き還らせ、科挙に及第して芽出度く結ばれる話)に至って戯曲文学は最高潮に達した。また明末には、阮大鍼の『燕子箋』(書生霍都梁は妓女行雲とたわむれに自分の姿を描き、表装に出す、手違いで高官の令嬢飛雲の手に渡る。飛雲が絵を見て焦れ詩を書く、燕がその詩箋を霍に運ぶという空想思慕から、安禄山の乱が起り、二人は現実にもぐり逢える。霍は答案すりかえ事件をあばき無事合格する。波瀾万丈の三角関係物語)がもてはやされた。

清代に移り、乾隆帝の南巡、西太后の芝居好きで、民衆の戯曲愛好は隆盛を極めるに至った。

喜劇作家李漁は『笠翁十種曲』と小説『肉蒲団』を残している。南曲解体期には洪昇の傑作で『長生殿』（有名な白樂天の長恨歌にもとづいた楊貴妃物語）と孔尚任の『桃花扇』（贈られた扇に、血で桃花を描き、愛を誓った文学者侯方域と名妓李香君を縦糸とし、明末の動乱による葛藤を横糸として、二つの糸が織りなす一大歴史劇）の二大伝奇がよく知られている。

戯曲の筋書きや内容からも解るように、元清時代の北方異民族支配、漢族排斥、科擧の中絶（1237～1315年）等によって、政治中枢機構に登用される機会を失った漢族文化人の不満が、大衆に受ける芝居の力を借りて痛烈な社会批判となって現れたのである。文言雅語による伝統文学の詩文詞賦が衰微したのに対し、戯曲文学は支配者にも好まれたとは言え、一般大衆の表現形式を取り入れることによって生命が甦えり、新しいジャンルへと発展できたのである。中国文学史の中で貴族文学から庶民文学への移り変わりを如実に現わしている。

濱文庫線装本 200点のうちには、これらの他に稀覯書例えば『玉獅堂伝奇五種』、『倚晴楼伝奇三種曲』、『歌代嘯』、『度曲須知』、『返魂香伝奇』、『庶幾堂今樂四十種』、『滄桑艶二十齣』、『西廂詩図像本』、『鶴帰来伝奇』、『絵図想当然伝奇』、『雅趣藏書綉像時芸』などがあり、天下の秘籍・孤本が数多く含まれている。また特に中国の地方演劇の状況を伝える戯劇刪節本、戯单子(番付)、劇碼(出し物・プログラム)、歌やセリフの抜刷小冊子、演劇雑誌、演劇新聞、記事切抜帳、電影(舞台写真、カラースライド、プロマイド)、唱片(レコード)等歴大ななまの材料があるが、これらは現在入手不可能であり、研究者にとって、垂涎の資料と言えよう。

濱文庫は、以上のべたような著名な作品はことごとく含まれており、中国戯劇の流れを一望のうちにとらえることができる珠玉のコレクションである。(教養部分館受入掛長)